

幕張豊砂ウォーカブルの軌跡(令和5年7月～令和7年3月)  
～居心地が良く歩きたくなるまちなかの形成に向けて～  
(幕張豊砂ウォーカブル推進社会実験報告書)



令和7年4月

幕張豊砂ウォーカブル推進社会実験実行委員会

## 1 実施概要

- (1)ウォーカブルの必要性…………… 3－5P
- (2)実行委員会の立ち上げ…………… 6－7P
- (3)ロゴマークの作成…………… 8－9P
- (4)実行委員会のコンセプト…………… 10－11P

## 2 実施詳細、結果

### (1)滞在快適性

- ①実行委員会主催イベント…………… 12－16P
- ②キッチンカー出店…………… 17－18P
- ③実行委員会構成社外の取組み… 19－20P

### (2)滞在環境整備

- ①人工芝敷設・ベンチ整備…………… 21－24P
- ②千葉大学松浦研究室との連携… 25－32P
- ③交通島の電源整備…………… 33－34P

### (3)美観活動の実施…………… 35P－36P

### (4)道路利用料金制度の導入…………… 37P－38P

## 3 社会実験の評価等

- (1)評価…………… 39－50P
- (2)今後の方向性… 51－52P



# 1 実施概要

(1)ウォーカブルの必要性

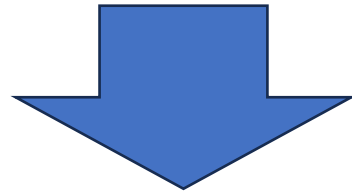
# ウォーカブルの必要性

## 【社会情勢としての課題】

- ・人口減少に転換していく中、これまでの「自動車中心」から「ひと中心・歩行者中心」のまちづくりへと転換する必要がある。
- ・これまで「つくる側目線」でのインフラ整備が進められてきたが、これからは多様な価値観・多様なライフスタイルに対応した「使う側目線」での道路・公園などの公共空間のあり方を考える必要が出てきており、整備段階から「使う側のプレイヤー」とともに検討を進める必要がある。

## 【幕張豊砂地区としての課題】

- ・幕張豊砂駅から周辺の施設、隣接する幕張新都心中心地区との回遊性の向上を図る必要がある。
- ・平成25年から実施している市とイオンモール株式会社が実施している「豊砂公園パークマネジメント事業」と併せて、幕張豊砂駅から豊砂公園までを含めたエリアでの一体的な空間創出について検討する必要がある。



まちづくりに積極的に取り組む民間組織と行政が連携し、官民によるパブリック空間を一体的に活用するためにウォーカブルを推進する必要がある。

千葉市では幕張豊砂エリアにおいて、JR幕張豊砂駅開業を見据え、令和3年1月に「**都市再生整備計画 幕張新都心地区**」を策定。自動車中心から「ひと中心」へのまちづくりの転換を図り「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の形成を実現することを目標に掲げ、幕張豊砂駅整備（ハード面）にとどまらず、**社会実験などソフト面**の取組を通じて「ひと」が歩きたくなる空間づくりを進めている。





# 1 実施概要

## (2) 実行委員会の立ち上げ



# WalkableTOYOSUNA(幕張豊砂ウォーカブル推進社会実験実行委員会)の立ち上げ

幕張豊砂駅開業を契機に、幕張豊砂地区および隣接地区の企業等で構成される7者にて実行委員会(任意団体)を組成し、令和5年7月より幕張豊砂ウォーカブル推進社会実験(愛称:WalkableTOYOSUNA)を開始。※令和6年2月に2社新規加盟し、9者で活動。

■実施期間：令和5年7月1日～令和7年3月31日

※令和7年2月に実施期間を令和8年3月31日まで延長合意

■実施主体：幕張豊砂ウォーカブル推進社会実験実行委員会

■実施内容：

【滞在環境整備】人工芝・ベンチの常設等

【社会実験】①日常の常設的な取組み：令和5年秋以降 順次、取組みを実施

②短期のイベント的な取組み：四半期に1回程度イベントを開催

③効果検証：人流データなどを活用した効果検証の実施

【実行委員会】定例会議(月1回程度)を開催し、社会実験等の内容について協議・調整



## 実行委員会概要

■構成員：

イオンモール株式会社、東日本旅客鉄道株式会社千葉支社、株式会社千葉ステーションビル、コストコホールセールジャパン株式会社、株式会社千葉ロッテマリーンズ、公益財団法人日本サッカー協会、日本ホテル株式会社、株式会社幕張メッセ、千葉市(順不同)

■目的：

幕張豊砂地区において駅前広場や歩道などの公共空間をはじめ、民間敷地のオープンスペースなど官民のパブリック空間を一体的に活用し、日常的かつ持続可能な「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の形成に取り組み、自動車から公共交通への転換およびまちの魅力の向上につなげていくための社会実験を実施する。

■その他：実行委員会の規約や要綱を策定するとともに口座も開設。



# 1 実施概要

## (3)ロゴマークの作成



# ロゴマークの作成

- 令和5年度第1回実行委員会で決定した社会実験の愛称(Walkable TOYOSUNA)を踏まえ、実行委員会内でロゴマークを公募したところ、計9件の応募があった。(公募期間:11/9~12/12)
- 同年12月の定例会議にて投票を行った結果、以下の作品を選定。



【コンセプト】WalkableTOYOSUNA実行委員会のテーマである「回遊性」から、『歩き回る人の動線』をイメージ。アクセントとして入れた、「walk」から連想する「足跡」のマークは、「！」のようにも見えるようにして、「新しい発見」や「驚き」があるという意味合いを込めています。色合いは幕張新都心の空の色をイメージ。

⇒告知媒体(プレスリリース、宣伝物、ホームページ)やイベント等で活用を図っている。

(参考)その他の応募作品





# 1 実施概要

## (4) 実行委員会のコンセプト

## 幕張豊砂駅開業を契機とした、車中心から「ひと中心」のウォーカブルなまちへの転換 ～日常的かつ持続可能な「居心地が良く歩きたくなるまちなか」形成による幕張豊砂エリアの価値向上～

(取組みにあたり重視したい6つのキーワード)

### Seamless

- ・官民のパブリック空間(駅前広場・歩道・公園といった公共空間や、民間敷地のオープンスペースなど)を境界なく一体的に活用する

### Local

- ・地元の多様なプレーヤーが活躍できる場所がある
- ・千葉をもっと好きになる、千葉の良いモノを知ることができる場所がある

### Connect

- ・様々な立場の実施主体がそれぞれの強みを活かし、連携協力してまちづくりに取り組む
- ・多様な人々が偶然出会い交流することにより、新たな繋がりが生まれる場所がある

### Relax

- ・自宅のリビングのように、ゆったりとした時間が流れ、ほっと癒される心地良い空間がある

### Sustainable

- ・環境負荷の低減や脱炭素を意識した、地球にやさしく人にやさしい取組みを推進する
- ・将来的に持続可能な取組体制の構築を目指す

### Family

- ・家族みんなと一緒に楽しめて、ちょっとした思い出作りのできる場所がある



## 2 実施詳細、結果

(1) 滞在快適性

① 実行委員会主催イベント

# 実行委員会主催の各種イベント

**幕張豊砂 マヨフェス** 令和5年7月29日(土),30日(日)10:00～16:00(マルシェは17:00まで)

- マヨネーズイベント(実施主体:キューピー、JR東日本千葉支社)
- 房総マヨともマルシェ(実施主体:千葉ステーションビル)
- わくわく!でんしゃ縁日(実施主体:JR東日本千葉支社)
- 千葉市消防音楽隊、千葉県警察音楽隊による演奏会(実施主体:イオンモール、千葉市消防局、千葉県警察)
- コストコによる縁日(実施主体:コストコホールセールジャパン)
- 駅前広場における滞留空間の創出(実施主体:千葉市)



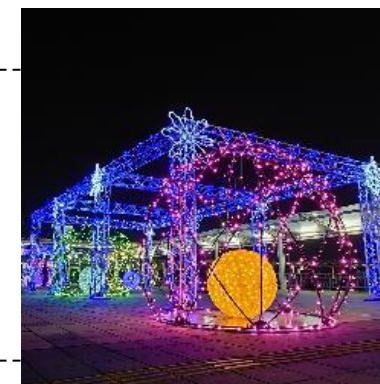
**まくはりとよすな ハーフバースデイ** 令和5年9月18日(月祝)10:00～15:00

- ハーフバースデイ撮影会&駅カード配布(実施主体:JR東日本千葉支社、千葉ステーションビル)
- 幕張豊砂回遊クイズラリー(実施主体:JR東日本千葉支社、千葉ステーションビル、イオンモール、コストコホールセールジャパン)
- 「房の駅」出店(実施主体:千葉ステーションビル)
- 千葉県誕生150周年記念 あつまれチバっ子!チーバくんと記念撮影会(実施主体:イオンモール、千葉県)
- コストコによる縁日(実施主体:コストコホールセールジャパン)
- コストコ前歩道における滞留空間の創出(実施主体:千葉市)



**とよすなあかりまつり** 令和5年12月23日(土) 16:30～19:00

- とよすな夜灯、光る!駅長犬バルーン(実施主体:JR東日本千葉支社)
- キラキラめぐりキャンペーン(実施主体:JR東日本千葉支社、千葉ステーションビル)
- 幕張豊砂駅前広場イルミネーション(実施主体:イオンモール株式会社)
  - ※実施期間:令和5年11月10日(金)～令和6年1月31日(水)[83日間]
- 幕張豊砂駅スペシャルライトアップ(実施主体:JR東日本千葉支社)
  - ※実施期間:令和5年12月23日(土)～令和6年1月8日(月・祝)[17日間]





# 実行委員会主催の各種イベント

## 幕張豊砂駅開業1周年まつり 令和6年3月16日(土)、17日(日)

イベントタイトル	場所	概要
幕張豊砂駅開業1周年記念パレード	豊砂公園前道路	近隣の中学・高校、警察音楽隊などによる、幕張豊砂駅開業1周年を記念したマーチングパレード
とよすなゆうえんち・えきなかどうぶつえん	とよすなうみかぜ広場/幕張豊砂駅駅前広場	千葉市動物公園のアルパカ「ミッティー」がやってくる「えきなかどうぶつえん」のほか、ミニ新幹線や、鉄道博物館で大人気の「てっぱくビンゴ」など電車をテーマにしたお子さま向けイベントの開催
はたらくくるま大集合！	豊砂公園前道路	車道に交通規制を行い、車両の展示・試乗を実施
KEIYO TEAM6+応援イベント	イオンモール幕張新都心エキマエモール	京葉線沿線に本拠地を持ち活動する9つのスポーツチーム「KEIYO TEAM6+」に関するイベントの開催（マスコットキャラクターによるじゃんけん大会、ペーパークラフト体験、応援グッズ抽選会）
ちばの魅力発信！とれたて物産展 & できたてキッチン	イオンモール幕張新都心グランドモール/豊砂公園前道路	伝統の味・江戸前千葉のりや、千葉県産のワイン、県産の新鮮で甘いトマトの他、できたての黒アヒージョまで千葉の「おいしい！」を幅広く取りそろえた物産展の開催
千葉市の魅力PR・体験ブース	イオンモール幕張新都心エキマエモール	千葉氏VRゲームなど千葉市の4つの地域資源の魅力を感じられる体験イベントや、幕張新都心クイズラリーの開催
ウルトラセブンAR謎解き	幕張豊砂駅/とよすなうみかぜ広場/イオンモール幕張新都心	ウルトラセブンの世界観を、「スマホ(AR+LINE)」と、「謎解きキット」を活用して体験する回遊型AR謎解きコンテンツの提供
新規オープンホテルに泊まろう！ガラガラ抽選会	とよすなうみかぜ広場	ホテルメッツプレミア幕張豊砂の開業を記念した、ホテル公式LINEに友だち登録している方を対象としたペア宿泊券が当たる抽選会の開催
#部屋活ピアノ POP UP イベント ～幕張豊砂駅開業1周年記念LIVE～	イオンモール幕張新都心グランドモール	幕張豊砂駅開業1周年をお祝いするピアノ演奏ライブの開催
コストコ入会キャンペーン	コストコ敷地内	入会用テントブースの設置



# 実行委員会主催の各種イベント

## Makuhari Toyosuna Autumn FES

令和6年10月12日(土)～14日(祝)

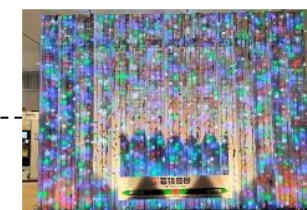
- Smart Camp(実施主体:イオンモール)
- 丸太ベンチ設置(運営主体:国立大学法人千葉大学松浦研究室)
- 人工芝・家具等滞在環境創出(運営主体:国立大学法人千葉大学松浦研究室)
- 犬部フェスタ(運営主体:ボンデチョコ)
- とよすなエキマエ鉄道まつり(実施主体:JR東日本千葉支社)
- ホテルガラポン抽選会(実施主体:日本ホテル株)
- スポーツフェスティバル(実施主体:イオンモール)



## イルミネーションイベント

令和6年11月8日(金)～令和7年1月31日(金)

- マクトヨフォレスト(実施主体:イオンモール幕張新都心)
- 幕張豊砂駅のイルミネーションウォール(実施主体:JR東日本千葉支社)



イルミネーション 第1弾  
11/8～11/30



イルミネーション 第2弾  
12/1～2025/1/31

## TOYOSUNA Winter Fes2024

令和6年12月21日(土)、22日(日)

- マクトヨフォレストにサンタクロースがやってくる！(実施主体:イオンモール)
- とよすなあかりまつり2024(実施主体:JR東日本千葉支社)





# 実行委員会主催の各種イベント

まくはりとよすなバースデИАニバーサリー2025

令和7年3月22日(土)、23日(日)

イベントタイトル	場所	概要
KEIYO TEAM6+ スポーツ体験DAY	とよすなうみかぜ広場	京葉線に本拠地を置く9つのスポーツチームで構成される「KEIYO TEAM6+」に関するイベントの開催(シュートターゲット、バッティングチャレンジ等のスポーツ体験、ステージイベント)
KEIYO TEAM6+ 加盟チームによるグッズ販売	とよすなうみかぜ広場	浦安市が本拠地のラグビーチーム「浦安D-Rocks」のグッズ販売
2周年特別価格！トレインシミュレータ体験	とよすなトレイン P318(幕張豊砂駅前)	500円の京葉線特別限定プラン(運転区間:海浜幕張駅～南船橋駅まで)で、トレインシミュレータによる本格的な運転士体験の提供
開業1周年！ホテル宿泊招待券が当たるガラガラ抽選会	JR東日本ホテルメッツ プレミア 幕張豊砂前	ホテルメッツLINE公式アカウントに友だち登録している方を対象としたペア宿泊券が当たるガラガラ抽選会の開催
電車で行こう！ コストコ新規入会キャンペーン	コストコ敷地内	幕張豊砂駅開業2周年を記念してコストコ新規入会キャンペーンを実施
MAKUHARU Fes	イオンモール幕張新都心イベントスペース グランドスクエア、豊砂公園	地元企業・学校やゲストアーティストによる演奏・パフォーマンス・ライブの開催
豊砂アニマルストリート	市道豊砂701号線	災害時の同行避難や健康ケアに関する情報提供や便利なグッズの展示





## 2 実施詳細、結果

(1) 滞在快適性

② キッチンカー出店

# キッチンカー出店

来訪者の利便性向上や収益可能性検証を行うため、幕張豊砂駅前にキッチンカーを出店。  
 (令和5年12月16日～令和6年2月25日の土日祝、令和6年9月23日)  
 ※売上の5%を出店料として実行委員会が徴収することを条件とした。

## 出店実績

	営業日数	営業台数	販売食数	税込売上	出店料
令和5年12月	5	14	744	474,810	23,740
令和6年1月	6	8	295	157,970	7,898
令和6年2月	4	4	217	97,850	4,892
令和6年9月	1	2	—	29,950	1,497
総計	16	28	1,256	760,580	38,027

※令和5年度の出店では、イオンモール幕張新都心(駐車場利用)、千葉ロッテマリーンズ(テーブル・ベンチ貸与)の協力をいただいた。

出店の様子(令和5年12月)



出店の様子(令和6年9月)





## 2 実施詳細、結果

(1) 滞在快適性

③ 実行委員会構成社外への取り組み

# 実行委員会構成社外の取組み

## 豊砂アニマルストリート

令和6年4月29日(月)～5月5日(日)、5月18日(土)～19日(日)、6月29日(土)～30日、10月19日(土)～20日(日)、  
11月16日(土)～17日(日)、12月14日(土)～15日(日)(※強風のため道路上での開催中止)、令和7年3月22日(土)～23日(日)

- ペット関連物販
- 動物保護活動(譲渡会)
- ペットの健康チェックセミナー



## 犬部フェスタTOYOSUNA701

令和6年9月7日(土)～8日(日)、10月12日(土)～13日(日)

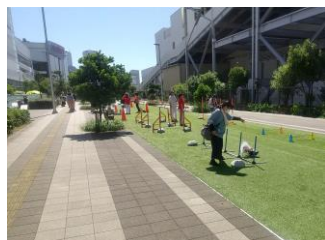
- モデル犬オーディション
- ドッググッズマーケット
- ドッグヨガ
- わんわんゲーム
- お買い物スタンプラリー



## ペテモフェス2025

令和6年9月15日(日)～16日(月祝)

- 飛行犬撮影会
- アジリティ体験会
- 10mレース
- フォトスポット
- ミニゲーム





## 2 実施詳細、結果

(2) 滞在環境整備

① 人工芝敷設・ベンチ整備



市道豊砂701号線(幅員約14m、延長約150m)のうち、**840㎡(幅員約6m・全長約140m)**に常設の人工芝を敷設し、**滞留空間を創出(令和5年12月20日供用開始)** ※道路占用許可・道路使用許可を取得し設置





## ベンチ整備①

市道豊砂2号線(コストコ幕張倉庫店前)および市道豊砂701号線(イオンモール幕張新都心ペットモール前)に常設のベンチ(幅4m×13基)を整備し、滞在性を向上 ※道路占用許可・道路使用許可を取得し設置





## ベンチ整備②

### ■選定した製品

アドベンチャー(有限会社白樫木材:和歌山県和歌山市)

※木材は国産材(紀州ひのき)を使用予定(背割り加工した上で出荷)



(断面図)



### ■地元関係者による防腐剤塗布(令和6年3月1日、4日)

※WalkableTOYOSUNA実行委員会参画企業、千葉大学建築学コース学生



### ■供用開始(令和6年3月7日)

- ・豊砂2号線(コストコ幕張倉庫店前)
- ・豊砂701号線(イオンモール幕張新都心ペットモール前)





## 2 実施詳細、結果

(2) 滞在環境整備

② 千葉大学松浦研究室との連携

滞在環境整備(場所の特性を踏まえた、利用者・利用シーンを想定したベンチの形状・デザイン)に関して、千葉大学建築学コースの松浦准教授に相談したところ、協力可能な内容として下記提案があったことから、千葉大学による受託研究として令和5年9月～令和6年1月まで実施。

1. 実行委員会メンバーによるデザインワークショップを実施
2. 千葉大学授業「都市デザインスタジオ」で幕張豊砂地区の将来像を提案

実行委員会メンバーによる「デザインワークショップ」および授業「都市デザインスタジオ」のスケジュール

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
デザインワークショップ	★第1回ワークショップ(9月11日)【グループ毎にまち歩き、資源・問題点の共有、アイデア検討】@AM幕張新都心	★第2回ワークショップ(9月26日)【重点エリアのアイデア検討】@AM幕張新都心	★第3回ワークショップ(11月7日)【学生提案の中間講評会】@千葉大学西千葉キャンパス	★第4回ワークショップ(12月16日)【学生提案の最終発表会】@AM幕張新都心			
都市デザインスタジオ		●第1回(10月3日)【出題・チーム決め】 ●第2回(10月10日)【現地見学会@幕張豊砂】 ●第3回(10月17日)【地区内の資源・問題点の共有、参考事例収集】 ●第4回(10月24日)【エリア毎の空間イメージ(第1段階)の検討】 ★第5回(11月7日)【中間講評会】 ●第6回(11月14日)【エリア毎の空間設計(第1段階・第2段階)の検討】 ●第7回(11月21日)【エリア毎の空間設計(第1段階・第2段階)の検討】 ●第8回(11月28日)【最終講評会】		★現地発表会(12月16日)@AM幕張新都心 ★現地展示(12月17日～1月16日)@AM幕張新都心・千葉市役所			
(参考) 千葉市による 滞在環境整備		人工芝整備(市道豊砂701号線)			ベンチ整備(まちなかウォークブル区域)		

「都市デザインスタジオ2023」Facebookページ  
<https://www.facebook.com/UrbanDesignStudioChiba>



# 千葉大学松浦研究室との連携(令和5年度)

## 第1回ワークショップ 令和5年9月11日(月) 15:00~18:00 @イオンモール幕張新都心

【内容】グループワークによるまち歩き、まちの資源・問題点の共有、アイデア検討



## 第2回ワークショップ 令和5年9月26日(火) 15:15~17:15 @イオンモール幕張新都心

【内容】グループワークによる重点エリアの将来像アイデア検討

(①駅前広場、②豊砂701号線+コストコ前、③豊砂公園+前面道路+イオンスタイル前駐車場、④浜田川沿い)





# 千葉大学松浦研究室との連携(令和5年度)

## 第3回ワークショップ 令和5年11月7日(火) 13:00~16:00 @千葉大学アカデミックリンクセンター

【内容】学生提案の中間講評会



## 第4回ワークショップ 令和5年12月16日(土) 13:00~16:00 @イオンモール幕張新都心

【内容】学生提案の最終発表会





# 千葉大学松浦研究室との連携(令和5年度)

イオンモール幕張新都心での展示(令和5年12月17日～令和6年1月8日)



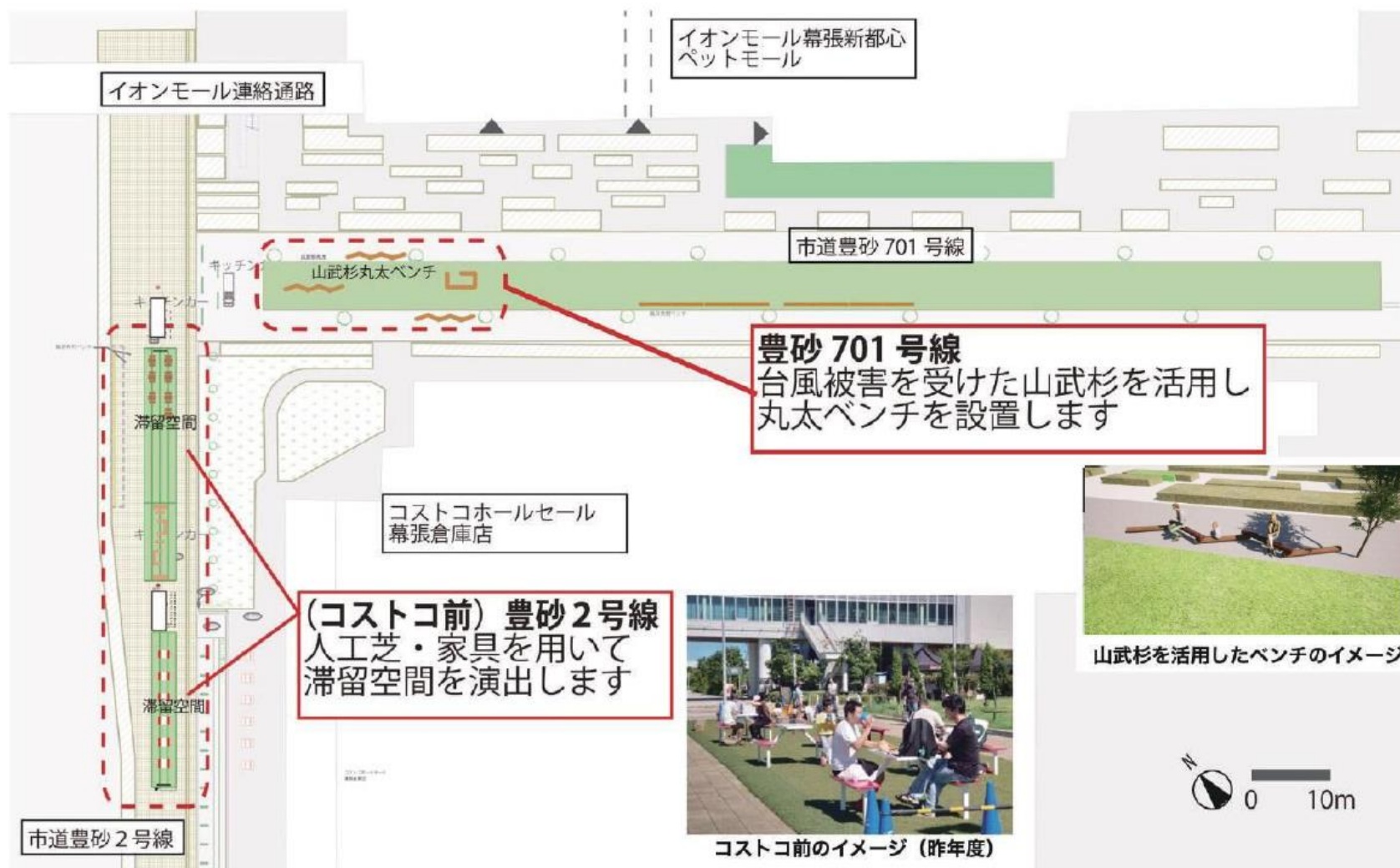
千葉市役所での展示の様子(令和6年1月10日～16日)





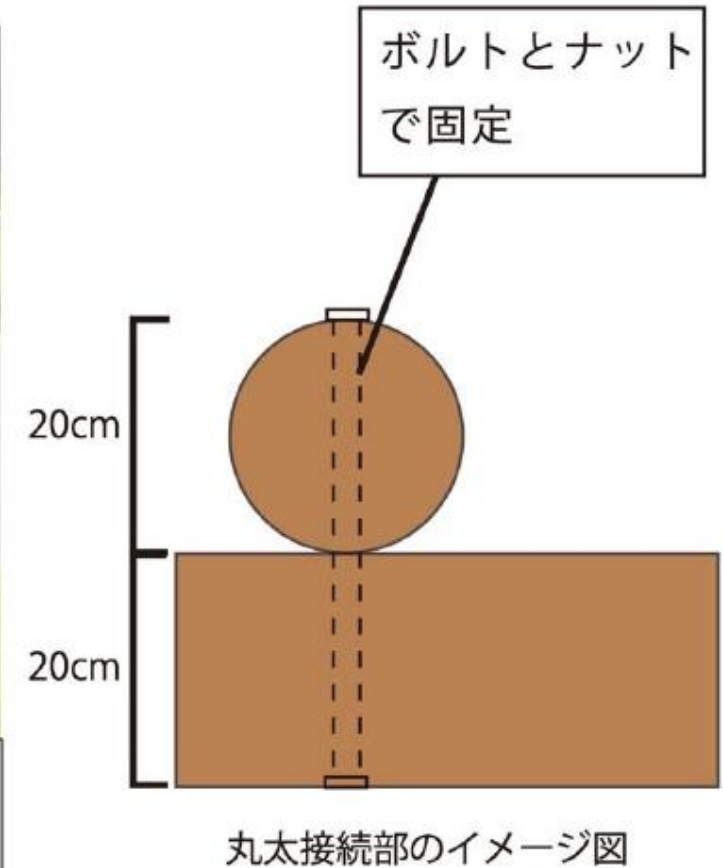
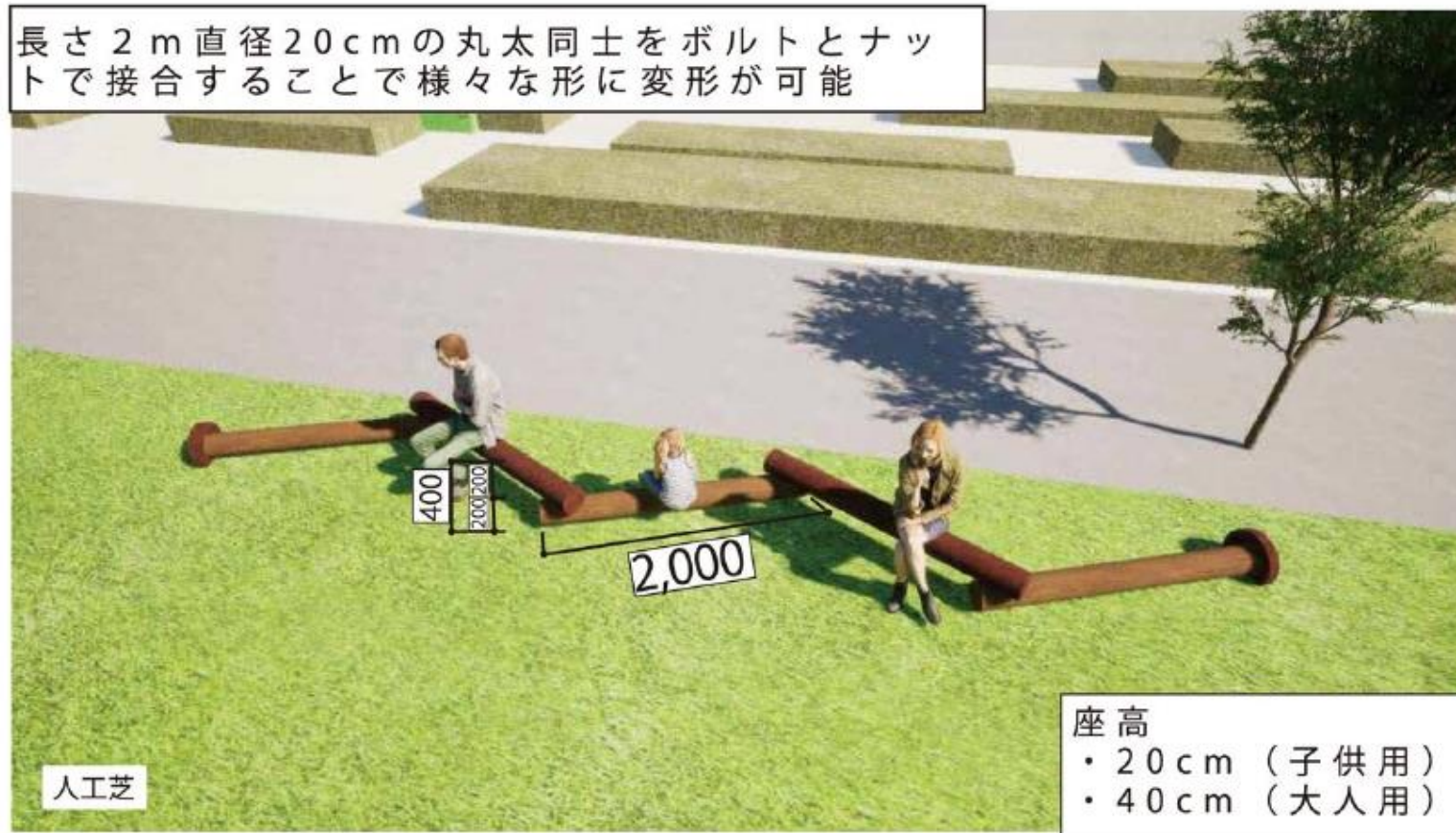
# 千葉大学松浦研究室との連携(令和6年度)

令和5年度に行われたデザインワークショップや都市デザインスタジオでの取組みを踏まえ、市道豊砂2号線・701号線での滞留空間の創出について提案、実証実験を実施。



# 千葉大学松浦研究室と連携した滞留空間の創出

市道豊砂701号線では、令和元年房総半島台風被害によって倒木したままとなっている山武杉を活用した丸太ベンチを設置。





# 千葉大学松浦研究室との連携(令和6年度)

本連携は地域新聞やケーブルテレビのニュースに取り上げられるなど、関心を得た。ベンチを設置したことによる効果や課題が顕在化されたこともあり、社会実験として価値が認められた。

効果	<ul style="list-style-type: none"><li>・山武ベンチを設置したことにより、多くの来街者が市道豊砂701号線に滞留し、新たな行動変容(ベンチに寄りかかって人工芝に座る、ベンチの上を歩く、ベンチを枕に寝る)が確認された。</li><li>・ベンチ本体の耐久性を確認することができた。</li></ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・イベント利用時にはスペース面で制限が生じる。</li><li>・木材のささくれ、ボルトのゆるみ、キャップの破損が出るなど定期的な維持管理を要する。</li></ul>





## 2 実施詳細、結果

(2) 滞在環境整備

③ 交通島の電源整備

# 交通島の電源整備

幕張豊砂駅の駅前広場内に位置する芝生空間(交通島)において、必要な環境整備を行うことで民間主体による公共空間の有効活用を促進することを目的として、令和5年12月に千葉市が設置。



- ・電気契約容量は、最大で100A
- ・側面の入線口を通して、電気配線を接続  
(電気使用者が東京電力と個別契約して使用)



## 2 実施詳細、結果

### (3) 美観活動の実施



日時	令和6年10月12日(土)11:30～12:30 ※イオンモール幕張新都心共催のビーチクリーン活動と同日開催
活動エリア	幕張豊砂駅周辺 イオンモール幕張新都心周辺 コストコ幕張倉庫店周辺
参加者数	20人
ごみ処理	イオンモール幕張新都心にて対応(ごみ袋は千葉市提供)







## 2 実施詳細、結果

### (4) 道路利用料金制度の導入

# 道路利用料金制度の導入

実行委員会の自律的な運営には自主財源の獲得が求められ、その方策を整理する必要がある。

社会実験では、駅前広場等でのキッチンカー出店料を得る取組みを実施したが、キッチンカーのみの出店では十分な収益が得られないことが判明した。

そのため、道路空間の利用において、社会実験の趣旨に沿うイベント等の開催を行う外部事業者に対して貸出を行う「道路利用料金制度」を令和6年11月に試験的に導入し、自主財源獲得に向けて検討した。

当該制度では、利用規約を作成し、利用希望者は利用申請書等を事務局に提出することとした。利用が認められる場合には、利用承認書を交付するとともに、利用希望者は利用料金(1㎡あたり160円/日(税抜))を納付することとした。

(参考)令和6年度収入

日程	面積	道路利用料金(税抜)
令和6年11月16日(土)	45㎡	7,200円
令和6年11月17日(日)	45㎡	7,200円
令和6年12月14日(土)	45㎡	7,200円
令和6年12月15日(日)	45㎡	7,200円
令和7年3月21日(金)	184.68㎡	29,548円
令和7年3月22日(土)	361.68㎡	57,868円
令和7年3月23日(日)	361.68㎡	57,868円
合計		174,084円



## 3 社会実験の評価等

### (1) 評価

# 社会実験の評価(データ分析①)

千葉市では、幕張豊砂駅開業を見据え、豊砂地区の都市機能の向上を目指し、令和3年1月に都市再生整備計画を策定した。

計画内で設定した指標について、実績は以下のとおり目標値を上回った。

指 標		単位	従前値		目標値		評価値
				基準年度		目標年度	
指標1	道路や公園での「滞在人数」	人/h	3	R2	40	R6	76
指標2	道路・公園空間における「アクティビティの種類数」	個	3	R2	10	R6	14
指標3	歩行者の通行量	人/h	45.7	R2	130	R6	132

(参考)評価数値の測定方法

【滞在人数、アクティビティの種類数】

令和6年10月開催の「Makuhari Toyosuna Autumn FES」において、豊砂公園前横断歩道周辺(2日間、合計4時間)で測定。

【歩行者の通行量】

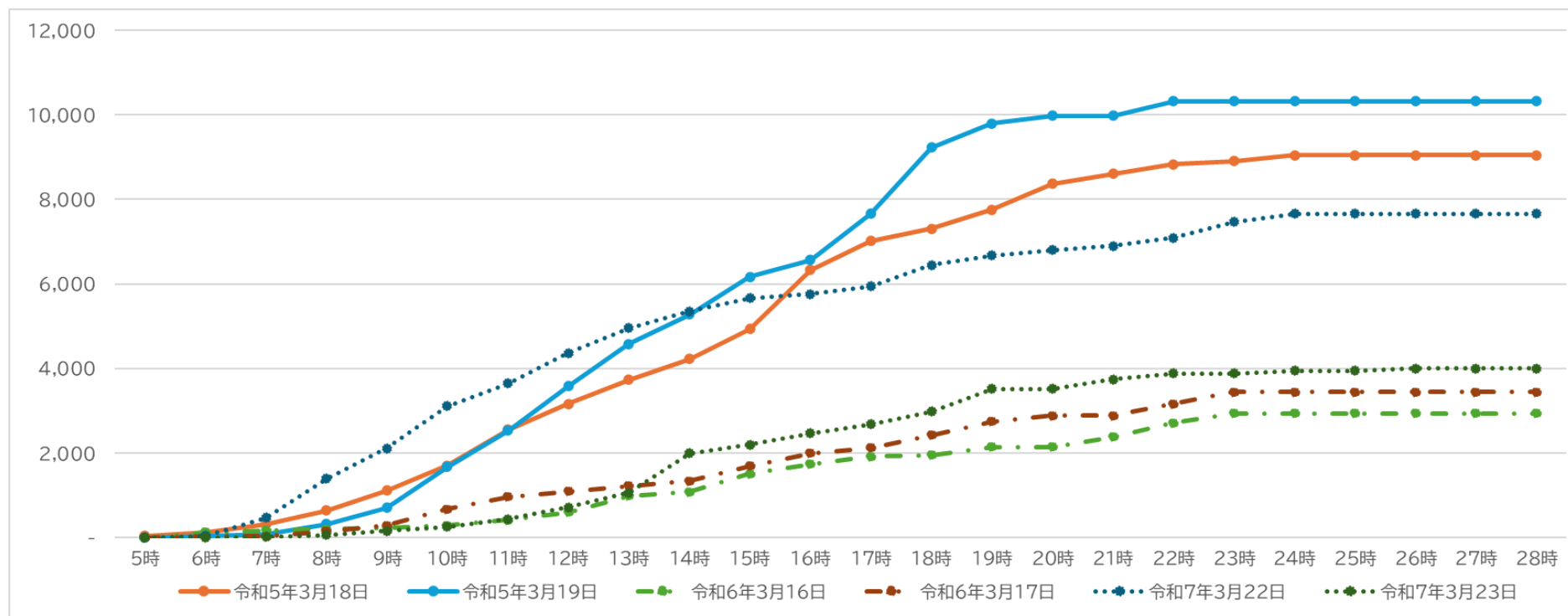
令和7年3月の平日(天候 晴)において、豊砂公園前横断歩道周辺で測定。



KDDIが提供している人流データ分析ツール「KDDI Location Analyser」により、位置情報データを活用して人の動きを分析した。

幕張豊砂駅周辺のエリアにおける令和5～7年3月に開催した実行委員会主催イベント(幕張豊砂駅開業まつり、幕張豊砂駅開業1周年まつり、まくはりとよすなバースデИАニバーサリー2025)の時間帯別人流(推計値)の累積値は、令和5年3月イベントが最も多く、幕張豊砂駅開業時の影響が見受けられる。

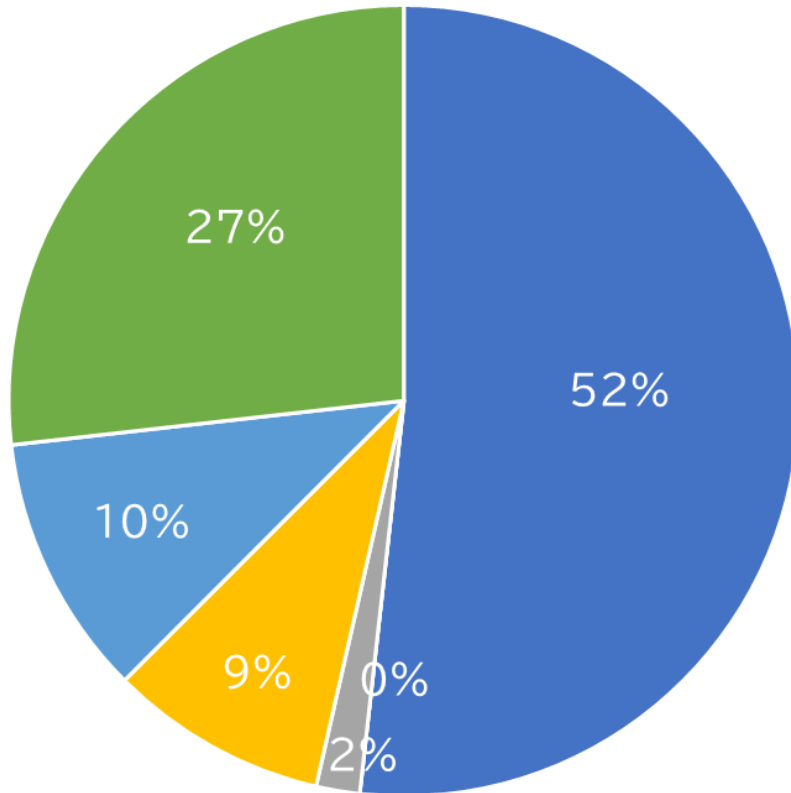
また、令和6年以降は、年々人流は増えており、駅開業時を上回る時間帯も認められることから、公共交通による来訪が寄与している可能性がある。



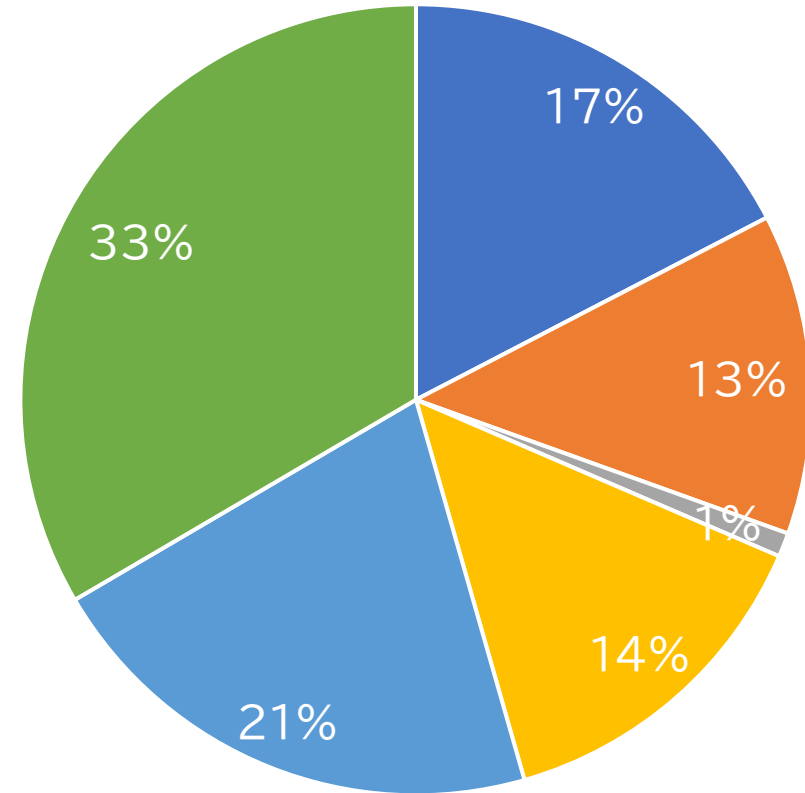
# 来訪者アンケート①

毎年3月に開催している実行委員会主催イベントでは、来訪者アンケートを行い、経年比較を実施した。幕張豊砂駅の利用状況は、月に1回以上利用している方が約50%となり、幕張豊砂エリアの玄関口として利用している層が着実に増加している。

幕張豊砂駅開業1周年まつり  
(令和6年3月、n=56)



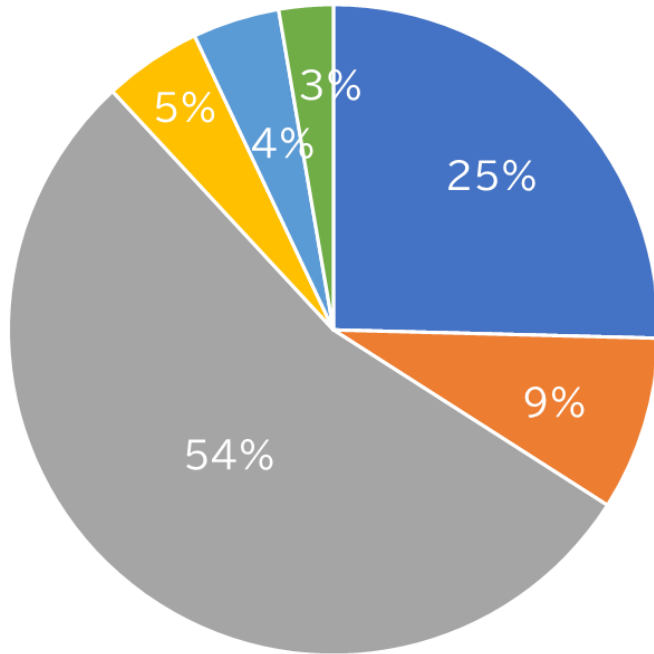
まくはりとよすなバースデИАニバーサリー2025  
(令和7年3月、n=305)



来場時の交通手段は、電車が52%(令和7年3月)と年々割合が高まっている一方、自家用車は36%(令和7年3月)に低下している。

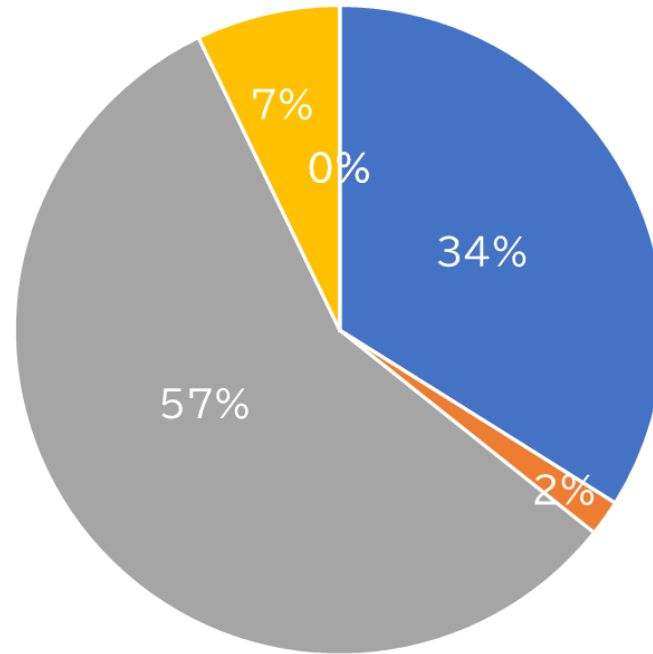
このことから、幕張豊砂駅の認知が進み、電車等の公共交通の利用割合が増えていると考えられる。

幕張豊砂駅開業まつり  
(令和5年3月、n=185)



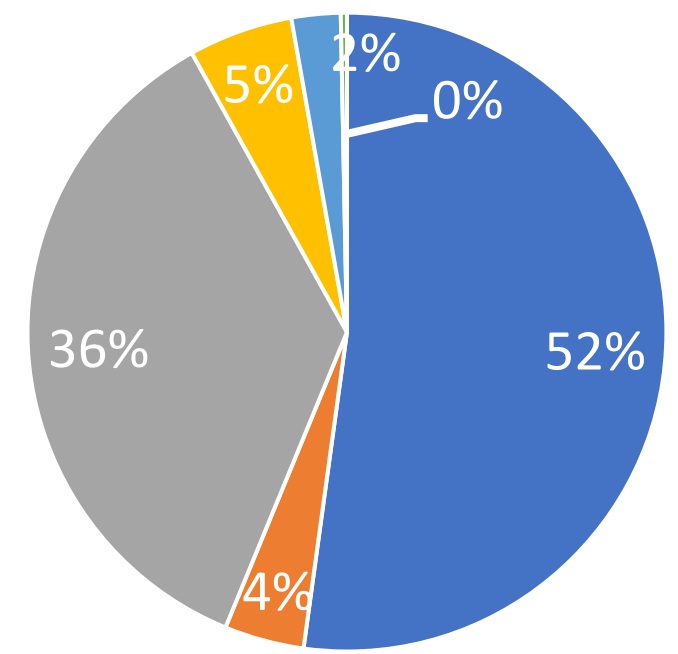
■電車 ■バス ■自家用車 ■自転車 ■徒歩 ■その他

幕張豊砂駅開業1周年まつり  
(令和6年3月、n=56)



■電車 ■路線バス ■自家用車 ■自転車 ■徒歩 ■その他

まくはりとよすなバースデイアニバーサリー2025  
(令和7年3月、n=305)



■電車 ■路線バス ■自家用車 ■自転車 ■徒歩 ■その他

# 社会実験の評価(各取組み①)

## 【滞在快適性(イベント開催等)】

- ・エリア全体で勾配がなく、徒歩で周遊し滞在しやすい街となっており、各パブリック空間を活用した実行委員会主催のイベントを開催したことで、官民パブリックスペースに多くの人が訪れるきっかけになった。
- ・休日を中心に日中帯には人工芝で寛ぐ人、学生や子どもたちを目にすることも増え、イベント開催により、官民パブリックスペースでの過ごし方も多様になりつつある。
- ・今後も、官民の様々な連携機会となっている実行委員会主催イベントを定期的を開催するとともに、外部団体による利用を増やすことで催しの多様化による集客と滞在性の向上を図りたい。
- ・一方、屋外空間であるため、風の影響を受けやすく、強風の場合はイベントを中止せざるを得ないこともあった。また、市道豊砂701号線やとよすなうみかぜ広場は日中帯に日陰となり、時期によっては「寒い」という声があるとともに、夏の暑さも課題となる。イベント開催では、そのような環境要因を踏まえる必要がある。
- ・エリア内の各パブリック空間はそれぞれの距離が離れており、一体的な活用や立地特性に応じたコンテンツ検討を通じて、滞在空間の演出を工夫していくことが望まれる。また、来訪者動線の固定化(幕張豊砂駅・各施設の単純往復等)傾向が見受けられるため、滞留施策と併せて引き続き検討すべきである。
- ・パブリック空間の利用手続き等が煩雑であり、申請期間や工数の削減(改善)により多くの企業等に活用される可能性がある。
- ・一部の車道に交通規制をかけイベントを実施することで、ひと中心・歩行者中心の可能性を検証した。





# 社会実験の評価(各取組み②)

## 【滞在環境整備(人工芝敷設、ベンチ設置等)】

- ・人工芝やベンチの設置により、周辺施設への誘客が促進されるとともに、芝生上で遊ぶ利用者も見られるなど人々の行動変容を促し、滞在性が向上し、実行委員会が掲げる居心地のよい新たな滞留空間が創出された。
- ・イベント開催時に限らずゴミが散乱していることがあるため、対策が求められる。

## 【美観活動】

- ・実行委員会が実施したクリーン活動は、美観維持において重要な取組みとなり、地域貢献にもなっている。
- ・クリーン活動は、大きな予算をかけずに構成員が参加しやすい取組みであり、継続的な実施により快適な空間の保持につながる。
- ・実施時期や開催頻度については議論の余地はあるが、各実行委員会構成員間の連携を強化するだけでなく、外部にも参加の幅を広げることで、より多くの人に活動を知ってもらうことが重要である。
- ・ポイ捨て防止の意識醸成の面では、クリーン活動の様子を各施設に掲載することも有効と考えられる。

## 【財源確保】

- ・道路利用料金制度は、実行委員会における活動資金の原資となり、社会実験中に顕在化した収入(協賛金、収益事業)に応じた税負担にも対応できた。
- ・一方、構成員のみでの収益化は困難であり、各パブリック空間の機能を改良するとともに外部団体に対して魅力を発信する必要がある。構成員が持つデータや千葉大学の研究成果を開示し、活用を促進することが重要である。
- ・今後は、手続きや利用料金等のあり方も含め、持続可能な体制を築くための収益性に関する議論を段階的に進める必要がある。
- ・幕張豊砂駅前でのキッチンカー出店は、通行人が大半であり、人が滞留するイベント等がない状況では多くの利用が見込めず、夏や冬は屋外での滞留に適した季節ではないことから、工夫が求められる。

- ・実行委員会を通じて各構成員との連携が深まり、地域活性化に寄与できた。
  - ・各構成員単独では実現し得ない規模(内容)のイベント開催等の取組みを実現したことは過去にはなかった成果であり、幕張豊砂エリアの活性化に繋がった。
  - ・来訪者の交通手段は電車等が増加しており、社会実験を通じて公共交通の利用が促進されている。
  - ・定例会議を通じて、日頃から顔の見える関係を構築することで、実行委員会外での連携や取組みにも良い影響が見られた。
- 
- ・一方、実行委員会組織の持続可能性を確保するためには、収益の見通しを踏まえた具体的な活動内容の精査と収支のバランスを取ることが必要である。
  - ・現在、取組みに対する構成員の積極性には差があり、各社の負担も大きいため、負担を軽減する仕組みづくりが重要である。
  - ・上記の課題を改善・解決していくため、収支バランス、経費負担や費用対効果について、議論を深めていく。





## 3 社会実験の評価等 (2) 今後の方向性



残存する課題を整理した上で、円滑に次期フェーズ(民間主体の体制)に移行すべく、令和7年度末まで社会実験を延長することとした。

前述の社会実験の評価を踏まえ、主に以下の取組みを進める。

## ○次期フェーズ完全移行に向けた取組み

### 【エリア像の明確化と中長期展望】

- ・エリア内各公共空間での過去の取組みを振り返りつつ、各空間の機能見定めやハード整備の可否を議論。
- ・上記議論と並行して、実行委員会として今後生み出したい価値やその評価手法(開示可能なデータ等確認)を検討。  
→目的・目標のブラッシュアップ、取組みの柱建て、道路利用料金制度の見直し
- ・タイムスケジュール(例 単年、3か年、5か年)へ落とし込み、中長期的な展望を実行委員会として共有。

### 【実行委員会組織の検討】

- ・会員区分(例 正会員、賛助会員)、区分に応じた権限や経費負担の手法・金額感(例 会費、協賛金)について意見交換を行い、令和7年度上半期を目途に結論。

### 【運営体制の試行】

- ・実行委員会や定例会議の運営を千葉市以外の構成員も担当。

## ○イベント等の開催

### 【実行委員会主催イベント】

- ・夏(7月または8月)、秋(10月)、冬(12月)、春(3月)を念頭に、狙い(例 認知・PR、来訪者増、滞在時間の延長、夜間帯における滞留創出等)を定めた企画を検討。

### 【クリーン活動】

- ・年2回程度の開催を視野に検討。